

2026 年 7 月 31 日
九州電力株式会社

2026 年度(2027 年 3 月期) 第 1 四半期決算についてお知らせします

2026 年度第 1 四半期(2026 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 30 日)の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、決算短信及び決算説明資料をご参照ください。

1 2026 年度第 1 四半期決算概要

当第 1 四半期の業績につきましては、燃料費調整の期ずれ影響が差益から差損に転じたことや、小売販売電力量の減少があったものの、原子力発電所の稼働増や、需給運用上余剰となった LNG の転売益の増加などにより、前年同四半期に比べ増益となりました。

収入面では、国内電気事業において、小売販売収入等が減少したものの、卸売販売収入が販売量の増加や市場価格の上昇などにより増加したことなどから、売上高は前年同四半期に比べ 6.9% 増の 5,326 億円、経常収益は 8.2% 増の 5,473 億円となりました。

支出面では、国内電気事業において、燃料費が原子力発電所の稼働増などにより減少したものの、購入電力料が卸電力市場価格の上昇などにより増加したことなどから、経常費用は 3.2% 増の 4,610 億円となりました。

以上により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同四半期に比べ増益となり、経常利益は 863 億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 610 億円となりました。

連 結		(億円、%)		
	当第 1 四半期 (2026 年 4 ～ 6 月)	前第 1 四半期 (2025 年 4 ～ 6 月)	増 減	増減率
経 常 収 益	5,473	5,059	414	8.2
売 上 高 [再 掲]	5,326	4,983	343	6.9
経 常 費 用	4,610	4,467	142	3.2
経 常 利 益	863	591	271	45.9
親 会 社 株 主 に 帰 属 する 四 半 期 純 利 益	610	467	143	30.7

(参考) 主 要 諸 元 表

	当第 1 四半期 (2026 年 4 ～ 6 月)	前第 1 四半期 (2025 年 4 ～ 6 月)	増 減
小売販売電力量(億kWh)	144	156	△ 12
卸売販売電力量(億kWh)	89	66	23
総販売電力量(億kWh)	232	222	10
原油 CIF 価格(\$/b)	113	75	38
為替レート(円/\$)	160	145	15
原子力[送電端](億kWh)	90	69	21
(設備利用率(%))※	(103.7)	(79.2)	(24.5)

(注) 販売電力量は当社及び連結子会社(九州電力送配電㈱、九電みらいエナジー㈱、九電ネクスト㈱)の合計値(内部取引消去後)

※ 定格熱出力一定運転により、設備利用率が100%を超える場合がある

2 2026 年度(2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)業績予想

2026 年度の業績予想につきましては、前回公表値から変更はありません。

(参考)2026 年度業績予想

連 結		(億円)
		前回公表 (4月)
売	上 高	23,000
営 業	利 益	2,100
経 常	利 益	1,800
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,300

主 要 諸 元 表

		前回公表 (4 月)
小売販売電力量(億kWh)		671
卸売販売電力量(億kWh)		304
総販売電力量(億 kWh)		975
原油 CIF 価格 (\$/b)		90
為替レート(円/\$)		160
原子力[送電端](億kWh)		295
(設備利用率(%))		(84.7)

(注) 販売電力量は当社及び連結子会社(九州電力送配電㈱、九電みらいエナジー㈱、九電ネクスト㈱)の合計値(内部取引消去後)

3 2026 年度配当予想

2026 年度の配当予想につきましては、前回公表値から変更はなく、当年度の業績や中長期的な収支・財務状況などを総合的に勘案し、普通株式 1 株につき 50 円(中間、期末ともに 25 円)の配当を実施する予定です。

以 上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。